

日本と世界の衣服 ~見て楽しむ伝統的な衣服~

DVD を見て、次の問いに答えてみよう。

1 衣服にはさまざまな役割があります。家庭科の授業で習った「衣服の機能」を2つ挙げてみましょう。また、それぞれの機能について説明してみましょう。

1. (保健衛生上の機能
体温の調節や身体の保護など、私たちが健康で過ごすための衣服の働き。)
2. (社会生活上の機能
晴れ着や喪服などで気持ちを表現したり、立場や役割を表すユニフォームなど、社会生活を営む上で大切な衣服の働き。)

2 次の文は、世界の民族衣装の分類について述べています。語群から適切な語を選び、() を埋めましょう。

世界各地には、生活や文化、環境を反映したさまざまな衣服があります。これらを形によって分類してみましょう。布を体に巻き付けて着る衣服を「巻垂型」といいます。代表的なものとしては、インドの(サリー)があります。布の一部に穴を開けて頭から被るタイプは「(貫頭)型」と呼ばれ、代表的な衣服はメキシコなどで見られる(ポンチョ)などです。また、インドネシアなどでは、腰回りに布を巻き付けて着用する(腰布)型と呼ばれる衣服があります。日本の民族衣装である着物、布を前で合わせて帯などを締めて着用する(前開)型の衣服のひとつです。現代では、ヨーロッパで普及し、人体にあわせてつくる(体形)型の衣服が、世界の主流となっています。

【語群】	ゴ	ポンチョ	キルト	サリー	紅型	貫頭	体形
	大布	前開	腰布	覆全			

3 次の文は、気候と関係する衣服の特徴について書かれています。暑い地域で着用される衣服の特徴には「暑」、寒い地域で着用される衣服の特徴には「寒」と記入してみましょう。

- (暑) 帯などを締めずにゆったりと着用する。
- (寒) 体にフィットした体形型の衣服が多い。
- (暑) 通気性の良さを重視する。
- (寒) 動物の毛皮などを使用する。

月 日 曜日 年 組 番 氏名:

4 イスラム圏の女性は、黒い布で頭から全身を覆うような服装をしていることが多い。これは日光から肌を守るといった意味以外にも理由があるのですが、それは何でしょう。

イスラム教の教えでは、女性は人前で肌を見せてはいけないとされているから。

5 以下の文は、日本の衣服について説明したものです。正しいものには○を、誤りのあるものには×をつけましょう。

- (×) 日本の民族衣装は、戦後から洋服に変わった。
- (○) 北海道のアイヌには、木の皮などから糸をつくるアットゥシという民族衣装がある。
- (○) 日本の着物の成り立ちには、中国文化の影響がある。
- (×) 着物は、体形に合った作りではないので、洋服のように重ね着することができない。
- (×) 着物に模様を描く技術は、白い布を染料で染める「染物」だけである。
- (×) 結城紬は、広島県を代表する織物である。

6 着物についての以下の問いに答えましょう。

- ① 沖縄の着物で、型紙などを使って鮮やかな色彩を染め出す技術を何というでしょう。
紅型 (びんがた)
- ② 現在の着物の元になったとされる、平安時代頃から庶民の間で着用された服を何というでしょう。
小袖 (こそで)
- ③ 図柄の細かさが特徴の、石川県金沢に残る日本を代表する染物は何でしょう。
加賀友禅 (かがゆうぜん)
- ④ 既婚の女性が結婚式などで着用する第一礼装の着物は何でしょう。
黒留袖 (くろとめそで)
- ⑤ 6月から9月までの暑い時期に着用される着物で、裏地のないものを何というでしょう。
単衣 (ひとえ)

7 現在、その動きやすさやデザインの豊かさなどから世界的に洋服が広まり、民族衣装を着る機会は減っています。また、ファストファッションと呼ばれる、大量生産・大量消費の仕組みが一般的となり、世界中で同じ衣服を手に入れることができます。このような現状について、あなたはどのように思うか答えてみましょう。

自由記述